

低入札価格調査の実施概要

工事名：小田川二期農業水利事業 小田川ダム倉庫建築その他工事

調査の対象となった業者名：株式会社 佐々木建設工業

調査項目	内 容
(ア) その価格により入札をした理由	建築工事各専門業者から打ち合わせ・見積もりの結果、当該価格での施工が可能と判断したため。
(イ) 契約対象工事付近における手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものが無い）
(ウ) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものが無い）
(エ) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものが無い）
(オ) 手持資材の状況	該当なし（契約対象工事で使用する予定の手持ち資材が無い）
(カ) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	各専門業者から材工共の見積を徴集し計上している。入札者と各専門業者の取引実績（年数）は3年から10年である。
(キ) 手持機械数の状況	該当なし（契約対象工事で使用する予定の手持ち機械が無い）
(ク) 労務者の具体的な供給見通し	<p>自社労務者はなし。各専門業者（協力業者）に材工共での発注・施工となる。各専門業者の材工共の見積を積み上げ、直接工事費に計上。労務者は、各専門工事別・職種別に配置し、履行に必要な労務者総員数として151人を計画している。</p> <p>入札者と各専門業者の取引実績（年数）は3年から10年である。</p>
(ケ) 経営内容	東日本建設業保証会社株式会社青森支店及び株式会社みちのく銀行問屋町支店に確認したところ、当該入札者の契約保証の受付については特段、風評等に問題なく通常の扱いで手続きしている（経営内容に問題がないという判断をしている）旨の回答を得た。
(コ) 建設副産物の搬出他	費用は、専門業者（協力業者）の材工共の見積（撤去・運搬処分）を積み上げ、直接工事費に計上。建設副産物を適切に処分する計画である。
上記(ア)～(コ)までの事情聴取した結果についての調査検討	<p>入札者は、各専門業者から材工共の見積を徴集し直接工事費を積み上げている。直接工事費は、施工可能な金額を計上していると認められる。</p> <p>共通仮設費は率算定し、現場管理費及び一般管理費は社内検討により必要額を積み上げ計上している。</p> <p>特に現場管理費は、自社の技術者給与手当（配置予定技術者）、保険料、法定福利費等の必要額を計上していることを確認した。</p> <p>以上より、これまでの実績により培った技術と施工能力に基づき意欲を持って入札していること、必要額を計上していること等から重点監督のもとに所要の施工、現場の安全管理、下請けへの支払い、必要な保険等の加入が行われ工事を完成できると認められる。</p>